



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

東

上場会社名 タカセ株式会社

上場取引所

コード番号 9087

URL <https://www.takase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 赤澤 紀之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員
管理本部長

(氏名) 吉田 吉与

TEL 03-3571-9497

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,122	6.8	40	144.1	58	104.5	36	199.1
2026年3月期第1四半期	1,987	1.6	16	51.7	28	31.4	12	△14.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △2百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △31百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	18.68	—
2026年3月期第1四半期	6.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	9,579	7,592	79.3	3,901.36
2026年3月期	9,801	7,664	78.2	3,937.70

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 7,592百万円 2026年3月期 7,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,850	4.2	370	74.5	420	71.4	320	101.1	164.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	2,109,026株	2026年3月期	2,109,026株
2027年3月期1Q	162,794株	2026年3月期	162,686株
2027年3月期1Q	1,946,264株	2026年3月期1Q	2,018,142株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済環境は、雇用や所得環境の改善に加え、各種政策の効果により、緩やかな回復基調を維持しましたが、物価上昇局面は依然として続いており、中東情勢の緊迫に起因した原油価格の上昇や調達への不安も抱えるなど、今後の見通しについても先行き不透明な状況となっております。

こうした中、当社グループは、社訓「まごころ」、社是「ADD SYSTEM」を念頭に、顧客目線を大切にした品質第一のサービス提供を行うことにより、当社グループを選んで頂けるように業務に取り組んでまいりました。特に、顧客の理解を得ながらの「適正価格の収受」、「新規顧客ならびに既存顧客の新規業務獲得」について、優先的な課題として取り組んでまいりました。

また、2025年度から“既存事業の収益力強化と新たな収益構造を確立する”ことをテーマとして業務に取り組んでおり、2年目の課題である「新たな事業領域・価値の創造」に向けて、既存顧客との対話および協議を進めることによる共創関係の構築や、人の手を活かしたきめ細やかな流通加工業務に磨きをかけることによる競合他社との差別化による営業収益の拡大に向けて取り組んでおります。

上記の取組の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は、期初からの収受価格改定が実現したことに加え、主要顧客における業務取扱量が堅調に推移したこと、新規顧客獲得もあり、前年同期間と比較して、6.8%増の21億22百万円となりました。

利益面につきましては、上海現地法人において利益率向上を目的とした倉庫移転に伴う一時費用を計上したものの、営業収益の増加に加え、一部主要顧客との間で実現した収受価格の改定による利益率改善の影響が大きく、営業利益は、前年同期間と比較して144.1%増の40百万円となり、2025年度から改善に向けて注力している営業利益率は、前年同期間から1.1ポイント改善しております。また、経常利益は、同104.5%増の58百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同199.1%増の36百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

- A. 総合物流事業におきましては、期初からの収受価格の改定による増収効果に加え、主要顧客の業務取扱量が増加したこと、新規顧客の獲得により、営業収益が前年同期間と比較して7.0%増の21億10百万円となりました。営業利益は、営業収益が増加したこと、収受価格改定により営業利益率が改善したことから、327.9%増の31百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、総合物流事業に対する運送分野を担っております。営業収益は、主要顧客の業務取扱量が減少したことにより、前年同期間と比較して12.4%減の63百万円となりました。営業利益は、営業収益減少の影響に加え、燃料費や車両の修繕にかかる費用の高騰により、前年同期間と比較して3百万円減少し、1百万円の営業損失となりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する倉庫内オペレーション分野を担っております。営業収益は、国内物流業務取扱量の増加に加え、業務範囲の拡大により、前年同期間と比較して27.0%増の3億25百万円となりました。営業利益は、営業収益の増加、コスト削減により営業利益率も改善し、前年同期間と比較して136.3%増の3百万円となりました。

(注) 上記営業収益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億21百万円(2.3%)減少し、95億79百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が56百万円、前払費用が54百万円、投資有価証券が92百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億50百万円(7.1%)減少し、19億86百万円となりました。

この主な要因は、流動負債の「その他」が59百万円、長期借入金が62百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ71百万円(0.9%)減少し、75億92百万円となりました。

この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により36百万円増加した一方、前連結会計年度にかかる期末配当金により68百万円、その他有価証券評価差額金が63百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、業績が概ね予想どおりに推移していることから、2026年3月期決算短信(2026年5月13日付)で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,853,164	1,796,329
売掛金及び契約資産	871,916	863,332
原材料及び貯蔵品	11,112	11,146
前払費用	111,186	56,480
その他	226,735	229,966
貸倒引当金	△780	—
流動資産合計	3,073,334	2,957,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,221,056	10,216,112
減価償却累計額	△7,961,442	△7,994,138
減損損失累計額	△64,872	△64,872
建物及び構築物（純額）	2,194,741	2,157,102
機械装置及び運搬具	2,060,257	2,056,399
減価償却累計額	△1,919,599	△1,921,287
減損損失累計額	△2,698	△2,715
機械装置及び運搬具（純額）	137,960	132,396
土地	2,335,562	2,335,562
その他	734,518	739,092
減価償却累計額	△622,586	△632,609
減損損失累計額	△22,116	△22,379
その他（純額）	89,815	84,102
有形固定資産合計	4,758,080	4,709,164
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	38,013	34,778
無形固定資産合計	496,500	493,265
投資その他の資産		
投資有価証券	938,153	845,843
繰延税金資産	20,537	26,157
その他	519,340	552,251
貸倒引当金	△4,356	△4,306
投資その他の資産合計	1,473,674	1,419,945
固定資産合計	6,728,254	6,622,374
資産合計	9,801,589	9,579,630

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	428,371	403,221
短期借入金	270,000	265,000
1年内返済予定の長期借入金	248,000	248,000
未払費用	96,257	101,686
未払法人税等	53,429	20,868
賞与引当金	56,981	93,906
その他	195,670	136,046
流動負債合計	1,348,709	1,268,728
固定負債		
長期借入金	199,000	137,000
退職給付に係る負債	333,509	337,436
繰延税金負債	114,977	103,155
その他	141,285	140,351
固定負債合計	788,773	717,943
負債合計	2,137,482	1,986,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	2,779,220	2,747,461
自己株式	△210,964	△211,173
株主資本合計	6,872,105	6,840,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	511,820	448,159
為替換算調整勘定	280,180	304,660
その他の包括利益累計額合計	792,000	752,819
純資産合計	7,664,106	7,592,957
負債純資産合計	9,801,589	9,579,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業収益	1,987,629	2,122,146
営業原価	1,737,232	1,825,508
営業総利益	250,396	296,638
販売費及び一般管理費	233,642	255,744
営業利益	16,753	40,893
営業外収益		
受取利息	1,154	2,250
受取配当金	10,131	10,273
受取賃貸料	5,171	6,376
その他	4,107	3,926
営業外収益合計	20,565	22,827
営業外費用		
支払利息	3,437	3,140
為替差損	1,069	1,141
その他	4,361	1,253
営業外費用合計	8,868	5,536
経常利益	28,450	58,184
特別損失		
固定資産除売却損	0	12
特別損失合計	0	12
税金等調整前四半期純利益	28,450	58,172
法人税、住民税及び事業税	18,957	10,487
法人税等調整額	△2,665	11,321
法人税等合計	16,292	21,809
四半期純利益	12,158	36,363
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,158	36,363

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	12,158	36,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,279	△63,660
為替換算調整勘定	△42,598	24,479
その他の包括利益合計	△43,877	△39,180
四半期包括利益	△31,719	△2,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,719	△2,817

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	1,437,821	17,992	—	1,455,813	7,133	1,462,947
中国	357,800	—	—	357,800	—	357,800
米国	98,805	—	—	98,805	—	98,805
顧客との契約から生じる収益	1,894,427	17,992	—	1,912,419	7,133	1,919,552
その他の収益(注) 4	68,076	—	—	68,076	—	68,076
外部顧客への営業収益	1,962,503	17,992	—	1,980,495	7,133	1,987,629
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	9,925	54,879	256,100	320,905	—	320,905
計	1,972,429	72,872	256,100	2,301,401	7,133	2,308,534
セグメント利益	7,401	2,579	1,659	11,639	1,429	13,069

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
日本	—	1,462,947
中国	—	357,800
米国	—	98,805
顧客との契約から生じる収益	—	1,919,552
その他の収益(注) 4	—	68,076
外部顧客への営業収益	—	1,987,629
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△320,905	—
計	△320,905	1,987,629
セグメント利益	3,684	16,753

(注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益の調整額3,684千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	1,577,930	11,821	—	1,589,751	7,165	1,596,916
中国	330,758	—	—	330,758	—	330,758
米国	125,167	—	—	125,167	—	125,167
顧客との契約から生じる収益	2,033,855	11,821	—	2,045,676	7,165	2,052,841
その他の収益(注) 4	69,304	—	—	69,304	—	69,304
外部顧客への営業収益	2,103,160	11,821	—	2,114,981	7,165	2,122,146
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	7,363	51,985	325,209	384,557	—	384,557
計	2,110,523	63,806	325,209	2,499,539	7,165	2,506,704
セグメント利益又は損失(△)	31,667	△1,204	3,920	34,383	1,455	35,839

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
日本	—	1,596,916
中国	—	330,758
米国	—	125,167
顧客との契約から生じる収益	—	2,052,841
その他の収益(注) 4	—	69,304
外部顧客への営業収益	—	2,122,146
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△384,557	—
計	△384,557	2,122,146
セグメント利益又は損失(△)	5,054	40,893

(注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額5,054千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間にかかる減価償却費(無形固定資産にかかる償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	73,376千円	71,231千円